

■第2回 調査検討委員会議事要旨（速報版）

鋼少数主桁橋の床版下面の吹付コンクリートはく離・落下事象
調査検討委員会

【第2回議事要旨】

■現地調査より、委員会として下記のとおり事実関係を確認した。

- ・当該箇所の既設 PC 床版下面のブラスト処理は、目視調査結果から施工前試験にて設定した処理レベルと同程度であった。
- ・当該個所の既設 PC 床版および吹付コンクリートの圧縮強度は、強度試験の結果から設計値以上の強度を有していた。
- ・はく離・落下した吹付コンクリートは、中性化深さの測定結果から、吹付コンクリートの端部側（支間中央側）で進行している傾向がみられた。
- ・上空に残る吹付コンクリートにおいて下面から衝撃弾性波試験を行った結果、吹付コンクリートの端部側（支間中央側）がはく離している傾向がみられた。

■現地調査結果も踏まえ、下記のような討議を行った。

- ・吹付厚が厚いことによるコンクリート収縮による体積変化が影響した可能性がある。
- ・超速硬コンクリートの場合、若材齢の挙動について十分検証すること。

・吹付コンクリート硬化時に床版の交通振動が影響した可能性がある。

■今後の解析および実験を行って検証し、メカニズムの推定を進めることを委員会として確認した。

以 上